

JA全農 とくしま情報

地域の話題や活動のご報告
今後のお知らせなど
JA全農とくしまと、あなたをつなぐ
コミュニケーション情報誌

2022
12月号
No.758



第40回徳島県花き展示品評会

マンスリーレポート ————— 2

- ・「徳島県れんこんの日」セレモニー
- ・第45回ふるさとカーニバル～阿波の狸まつり～
- ・とくしまブランドde簡単料理コンテスト2022
- ・さくらももいちごの初競り
- ・第40回徳島県花き展示品評会
- ・相生小学校でオモトの花育
- ・大阪市中央卸売市場南港市場で研究会・共励会を開催
- ・全農内部職員エコープマーク品研修会
- ・キャンプイベントで徳島県産青果物をPR
- ・「秋の阿波おどり」イベント出展
- ・令和4年度阿波吉野川技術交換会
- ・第3回果樹部会「柿・ぶどう等の生産における課題」

旬の野菜でおうちごはん ————— 8

- ・さつまいものオレンジ煮

浜ちゃん・ちっちゃんのうまいモノ絵日記 ————— 9

- ・その⑩ ～嬉しいときには、焼き肉とビール～

交通安全のお知らせ ————— 9

- ・年末年始の交通安全県民運動の実施について

トピックス ————— 10

- ・営農コラム

マンスリーレポート

～大阪市中央卸売市場で販売拡大へPR～

「徳島県れんこんの日」セレモニー

11月8日、徳島県蓮根消費拡大協議会と当県本部は、大阪市中央卸売市場・大阪中央青果株式会社の野菜売り場で、年末需要期に向けて徳島県産レンコン販売促進のため恒例の市場セレモニーを実施しました。

セレモニーには、JA関係者、徳島県、当県本部職員が参加し、同協議会の長江郁哉会長(当県本部長)は「農業生産資材の高騰により、農業従事者の所得と生産体制の維持について今後ますます厳しくなることが予測されます。JA・行政と協力し、今後も生産者への補助体制に尽力し、また京阪神市場のパートナー市場・仲卸とも協力してより良い販売に繋げてまいりますので、今後ともご協力をお願いします」とあいさつをおこないました。

同協議会の佐々木伸夫副会長兼販売部長(JA大津松茂代表理事組合長)は産地を代表して「年末需要期に向け産地一丸となり品質に十分注意し、高品質で安定した出荷に取り組んでまいりますので、なお一層のお引き立てをよろしくお願いします」と販売への支援・協力を依頼しました。

またこの日は、市場関係者や仲卸業者など約150人に、オリジナルマスクやれんこんチップス、エコバックなどを無料配布し、徳島県産レンコンを大いにPRしました。



あいさつを行う徳島県蓮根消費拡大協議会の長江会長



オリジナルマスクやれんこんチップスなどの無料配布を行い県産レンコンをPR

＜徳島県れんこんの日(11月8日)とは…＞

11月は徳島県産レンコンの出荷量が増えて品質が安定する時期であることと「いい(11)は(8)す＝良い蓮」の語呂合わせから、平成24年(2012年)に徳島県蓮根消費拡大協議会が制定した記念日です(一般社団法人日本記念日協会により認定)。

～JRT四国放送「板東男節スペシャル」でレンコンとスダチをPR～

第45回ふるさとカーニバル

～阿波の狸まつり～

11月5日、徳島県蓮根消費拡大協議会と徳島県すだち・ゆこう消費推進協議会は、徳島市の藍場浜公園で開催された、第45回ふるさとカーニバル～阿波の狸まつり～四国放送ラジオ「板東男節スペシャル」(毎週日曜日11:00～正午放送)で徳島県産レンコンとスダチのPRをおこないました。

公開放送では、四国放送アナウンサーの佐藤旬子さん、シンガーソングライターの板東道夫さん、すだち大使の古川舞佳さんと河野莉奈さんが来場者やリスナーにレンコンとスダチの美味しい食べ方などを伝えました。また、リスナーへはレンコンやグッズ、スダチ飲料をプレゼントしました。放送では、板東さんとリスナーが作ったレンコンの歌も披露され、会場は大変盛り上がりしました。



公開放送でレンコンとスダチをPR!



四国大学の皆さんによる阿波おどり

～徳島県産ダイコンで高校生が簡単朝食づくり～

とくしまブランドde簡単料理コンテスト2022

11月23日、徳島市応神町の四国大学短期大学部で「とくしまブランドde簡単料理コンテスト2022」(主催＝四国大学短期大学部食物栄養専攻、協賛＝全農徳島県本部、後援＝徳島県／徳島県教育委員会)の最終審査がおこなわれました。

このコンテストは、全国の高校生を対象として高校生自身が「食べてみたい、作ってみたい」と思えるような、忙しい朝でも簡単に作れるワンプレート朝食レシピを募集したものです。野菜の総使用量が120g以上であることと、徳島県産の食材を使用して栄養バランスがとれていることに加え、指定された徳島県産ブランド食材を使用することがレシピづくりと調理の条件となります。

当県本部は、2016年よりこのコンテストに協賛し、参加賞として徳島県産米「あきさかり」とずすだち(飲料)を提供しています。また、今回指定食材となった「ダイコン」はJA里浦から提供されました。

最終審査当日は、応募総数99組の中から一次審査(書類審査)を通過した高校生7組(8人)が制限時間90分で実際に調理をおこない、徳島県産食材の使用量、栄養バランスの均衡、味や見た目などを基準に試食審査がおこなわれ、次のとおり受賞者が決定しました。(敬称略)

◇最優秀賞

- ・徳島県立小松島西高等学校 3年 山本結々
料理のテーマ:大根物語～徳島編～

◇優秀賞

- ・徳島県立小松島西高等学校 3年 長野果奈
料理のテーマ:「目で楽しむ」大根ごはん

◇審査員特別賞

- ・香川県立石田高等学校 3年 掛美紅
料理のテーマ:グリルdeすりおろし大根チキン朝ごはん
～徳島の大根とさぬきコーチンのコラボ～



調理に取り組む高校生



最優秀賞

～過去最高値1箱16万円～

さくらももいちごの初競り

11月29日、大阪市中央卸売市場で徳島県佐那河内村産ブランドイチゴ「さくらももいちご」の初競りがおこなわれ、16個入り1箱が昨年と同額の過去最高額16万円(1個1万円)で競り落とされました。

初競りには、JA徳島市佐那河内支所から16～28個入り進物用が169箱出荷され、仲卸がセリの開始に合わせ次々と値段をつけ終始盛況でした。

JA徳島市佐那河内ももいちご部会は「今年は天候に恵まれ、色つや、形状とも優れ、糖度、酸味のバランスがとれたイチゴとなっている。今後も全国に知られる高級品種の生産を維持し、育苗から愛情を注ぎ、自信をもって高品質なイチゴをお届けできるよう部会一丸となって取り組んでいく」と話していました。

販売先は、阪神百貨店や、大丸、京都高島屋など大手デパートの他、シンガポール、台湾、香港などへ輸出がおこなわれています。

最高値の商品は、この日阪神百貨店梅田本店に並び、172,800円(税込)で販売され買い物客から注目を浴びていました。



初セリの様子



さくらももいちご(阪神百貨店梅田本店)

マンスリーレポート

～JA板野郡高志支所のシンビジウムが農林水産大臣賞～

第40回徳島県花き展示品評会

11月26日～27日の2日間、徳島市の文化の森総合公園内徳島県立21世紀館で、とくしまの花振興協会(会長＝坂本雅彦副本部長)主催による「第40回徳島県花き展示品評会」(徳島県、JA徳島中央会、JA全農とくしまなど共催)が開催されました。

徳島県の花きは京阪神市場を中心に出荷されており、特に洋ラン(切花)出荷量は全国でもトップクラスです。この品評会は、徳島県の花き生産技術向上と消費者PRを目的に、花き関係者の相互協力のもと開催しているもので、今回で40回目となります。

会場となったイベントホールには、県内の花き生産者や団体からシンビジウムなどの切花53点、枝葉物25点、鉢物25点の計103点が出品され、色沢・形状・揃い・市場経済性などが審査されました。

厳正な審査の結果、真っすぐに伸びた花茎に濃いピンクの中輪花が多数咲いており高い市場性が評価された「シンビジウム(切花)・タルト」を出品した加納玉子氏(JA板野郡(高志))が、最高位の農林水産大臣賞を受賞しました。

また、「シンビジウム(切花)・ミマジェンヌ」を出品した近藤洋右氏(徳島県洋ラン生産組合)が、全国農業協同組合連合会徳島県本部県本部長賞を受賞しました。

上位5賞の受賞者は次の方々です。(敬称略)

◇農林水産大臣賞

加納玉子(JA板野郡(高志))・シンビジウム(切花)・タルト

◇農産局長賞

立石泰子(JAアグリあなん(相生))・オモト・大宗観

◇中国四国農政局長賞

松田精二(胡蝶蘭部会)・コチョウラン(鉢物)・V3

◇徳島県知事賞

妙見任康(JA名西郡花卉振興部会)・花木・黄金ヒバ
岡松ローズ(有限会社岡松バラ園)・バラ・激愛



「シンビジウム(切花)タルト」で
農林水産大臣賞を受賞した加納玉子氏



品評会の様子

～オモト産地の子どもたちが生け方などを体験～

相生小学校でオモトの花育

11月22日、とくしまの花振興協会とJAアグリあなんは、那賀町立相生小学校において、総合学習の一環として「オモト(万年青)」を使った花育をおこないました。

那賀郡那賀町(旧・相生町)は、縁起の良い植物として引越し・長寿のお祝いや正月の花材などに重宝されるオモトの産地で、生産量・品質ともに全国一位を誇ります。このオモトを地元の子どもたちにもっと知ってほしい、触れてほしいという生産者の願いから、授業での取り組みをおこなっており、今年で15回目です。

授業では、6年生14人の児童が華道家の兒玉知之氏の指導で生け方を体験し、楽しそうに思い思いの作品を作りました。作品は26～27日に徳島市の文化の森県立21世紀館で開かれた第40回徳島県花き展示品評会で展示されました。

※花育(はないく)とは、花を教材に生命や個性について、子供などに考えてもらう活動です。



兒玉氏よりオモトの生け方を教わる児童



校内に飾られた児童の作品

～良質な牛肉生産へ～

大阪市中央卸売市場南港市場で研究会・共励会を開催

11月、大阪市住之江区の大阪市中央卸売市場南港市場で枝肉研究会・肉牛共励会が開催されました。

各大会で最優秀賞に選出された牛は、どれもロース芯や各部位に厚みのある堂々たる枝肉となっており、肉質においても最上級の成績を収め、重量・肉質を両立させたものとなっていました。

◆第32回四国三郎牛枝肉研究会(11月11日)

黒毛和種11頭、交雑種17頭、合計28頭が出品されました。

交雑種の部の最優秀賞には吉本畜産合同株式会社(土成町)の去勢(枝肉重量:616.2kg 格付:A4-6)が選出されました。

◆第60回徳島県肉牛共励会(11月18日)

黒毛和種16頭、交雑種16頭の合計32頭が出品されました。

黒毛和種の部の最優秀賞には株式会社柴田畜産(土成町)の去勢(枝肉重量:617.4kg 格付:A5-12)が選出されました。

◆岡山・山口・徳島合同枝肉研究会(11月25日)

黒毛和種合計35頭(うち徳島県11頭)が出品されました。

最優秀賞にはノースバレー株式会社(川島町)の雄(枝肉重量:584.0kg 格付:A5-12)が選出されました。



最優秀賞
(交雑種の部) 吉本畜産合同株式会社



最優秀賞
(黒毛和種の部)
株式会社柴田畜産



最優秀賞
(黒毛和種)
ノースバレー株式会社

～商品知識を共有し業務推進に役立てて～

全農内部職員エコープマーク品研修会

11月28日、くらし支援事業部中四国エネルギー生活事業所徳島生活推進課は、当県本部会議室で全農職員を対象に「エコープマーク品研修会」を開催しました。

これは生活事業で取り扱うエコープマーク品を利用し簡単な調理・試食をおこなうことで、商品知識や食味を確認し、部署の垣根を超えて農畜産物の利活用を発信・共有するなど、業務推進時に役立ててもらうことを目的としています。

研修会では厚生産業株式会社の宮崎講師よりエコープマーク品「エコープなす・キュウリ漬けの素」の特徴や使用方法を教わり、参加した12人の職員は茄子とキュウリの漬物作りをおこないました。また、大興産業株式会社の池田講師からは、国産愛用マークの表示された「ほめられ酢」の特徴や使用方法を教わり、簡単にできるピクルスを作りました。研修メニュー以外の試食も用意されており、参加した職員は食味を確認していました。

エコープマーク品はJAのプライベートブランドで安全・安心な国内産の原材料を優先的に使用した商品です。また、国産愛用マークはエコープマーク品のうち主原料が国産原料100%のものに付けられる表示となっています。

徳島生活推進課では、今後も取扱い商品の認知度を高めるとともに各商品の普及拡大に努めてまいります。



エコープマーク品の特徴や使用方法などを説明する厚生産業株宮崎講師



「ほめられ酢」を使ったピクルス作りを行う職員



紹介されたエコープ商品など

マンスリーレポート

～キャンパーから大好評！～

キャンプイベントで徳島県産青果物をPR

徳島県すだち・ゆこう消費推進協議会、徳島県農産物消費拡大協議会、徳島県蓮根消費拡大協議会、徳島県甘藷消費拡大協議会は、県産農産物の消費宣伝を県内キャンプ場や兵庫県でおこないました。

10月15日、まぜのおかオートキャンプ場(海陽町)、南阿波サンラインモビレジ(美波町)、10月22日は月見ヶ丘海浜公園(松茂町)、四国三郎の郷(美馬市)、美濃田の淵(東みよし町)、コットンフィールドキャンプ場(神山町)で農産物配布イベントをおこないました。キャンプに訪れた108組(510人)にスダチやレンコン、シイタケ、なると金時、ザすだち(飲料)などの新鮮な野菜や加工品を配布し、キャンプの食材として利用していただき県産食材の美味しさを実感してもらいました。

また10月30日には、兵庫県神戸市でバーベキュー施設を併設する神戸ワイナリーの「2022新酒まつり」でもサツマイモやシイタケ、レンコン、スダチ、ザすだち(飲料)を100人にプレゼントし大変喜んでもらいました。



提供された県産食材など



県産食材に大喜び香川県からの
デイキャンプのご家族(美濃田の淵)



大きなレンコンに興味深々!
(南阿波サンラインモビレジ)

～徳島県産青果物や飲料をPR～

「秋の阿波おどり」イベント出展

11月5日と6日の2日間、当県本部は、徳島市のアスティとくしま(徳島県立産業観光交流センター)で開催された「秋の阿波おどり」(主催＝徳島県、一般財団法人徳島県観光協会)にブース出展し、徳島県産青果物や飲料の販売をおこないました。

このイベントは、平成20年(2008年)から毎年秋に開催しており、今年は2日間にわたって阿波おどりの演舞や阿波木偶「三番叟(さんばそう)まわし」、和太鼓など伝統芸能の上演、歌手のコンサートなどがおこなわれました。また、徳島県の豊かな自然や歴史、伝統芸能や特産品といった魅力を全国の人に知ってもらうことを目的として、県内の各団体が出展をおこないました。

当県本部のブースでは、なると金時やスダチ、生しいたけ、柚子、ブロッコリーなどの青果物やザすだちなどの県産飲料、なると金時の焼き芋を販売し、県内外から訪れた大勢の来場者にお買い求めいただきました。



迫力の阿波踊り演舞



多くの来場者が焼き芋や青果物を購入



青果物を販売する園芸販売課職員

～農業用ドローン実演会～

令和4年度阿波吉野川技術交換会

11月10日、阿波吉野川農業青年クラブ連絡協議会は、吉野川市山川町のJA麻植郡西部支所およびJA管内生産者のブロッコリー圃場において「令和4年度阿波吉野川技術交換会」を開催しました。

当JA管内では、露地野菜の栽培が盛んに営まれており、この会は、近年その防除作業の省力化へ向けて注目されている農業用ドローンについて、実演や講義により、作業性の確認や機器の知識向上をはかることを目的としています。

当日は、阿波吉野川農業青年クラブ連絡協議会会員、阿波☆スピカメンバー、阿波吉野川農業士会員、新規就農者、農業支援センター職員や当県本部営農支援課、全農本所徳島農機事務所などの関係者25人が参加しました。

圃場の実演では、ヤンマーアグリジャパン株式会社アグリサポート部の天満課長が農薬散布用ドローン(産業用マルチローターT-10)を操作し、ブロッコリー圃場(約20アール)への散布を実演し、リモコン操作などについて説明をおこないました。実演では、葉の裏まで散布できていることが確認されました。

実演後、JA麻植郡西部支所に場所を移し、天満課長から「ドローン使用における注意事項」として、T-10の特長や機能、価格、ランニングコスト、運用にあたって必要な免許や許可などの講義がありました。

また、当県本部営農支援課阿部職員は、ドローンで使用可能な農薬や農家の栽培管理をサポートするシステム「ザルビオフィールドマネージャー」の説明をおこない、同濱堀職員からはスマート農業に関する提案として、圃場の情報管理などに活用できる「Z-GIS」の説明がありました。これらはスマホから利用することができるシステムとなっており、イメージ画像の視聴もおこなわれ参加者は熱心に学んでいました。



ドローンによる散布実演を見学する参加者



リモコン操作などについて説明する
ヤンマーアグリジャパン(株)の天満課長



薬剤などについて説明する
営農支援課の阿部職員

～産地と情報交換し効果的な果樹生産へ～

第3回果樹部会「柿・ぶどう等の生産における課題」

11月25日、徳島県農業技術普及連絡協議会(会長＝長江郁哉県本部長)は、県下3JA(板野郡、美馬、あわ市)の担当者、徳島県、とくしまブランド推進機構、当県本部など関係者16人出席のもと、第3回果樹部会「柿・ぶどう等の生産における課題」を開催しました。

徳島県果樹試験地(上板町)の会議室で開催された情報交換会では、各産地の柿・ぶどうの生育状況やカメムシ、夏場の高温・過乾燥による果実被害の現状とその対策について、JAや農業支援センター担当者、農産園芸研究課研究員より報告がありました。また、品質向上に向けた柿・ぶどうの栽培等について、指導や支援を進めるために活発な意見交換がおこなわれました。

会議終了後には果樹試験地に場所を移し、栽培されている富有柿(ふゆうがき)の収穫適期をAIで判別する技術を視察し、有意義な検討会となりました。



園地視察の様子



あいさつを行う営農支援課の森課長



さつま芋のオレンジ煮



▼材料(2人分)

さつま芋……………1本
オレンジ……………1個
バター……………大1

A { 水……………50cc
砂糖……………大2
塩……………小1弱
こしょう……………少々

▼作り方



① さつま芋は皮付きのまま、5mm厚の輪切りにし水から茹でる。



② オレンジは身を外し、さいの目切りにする。



③ Aを火にかけてカラメルになったらバターを溶かし、①を絡める。

④ 残りソースで②を絡め、③にかける。

POINT

オレンジの身が酸っぱい場合は塩(少々)を加える。



料理研究家 HITOMI <http://www.hitomi-cook.com>

◎免許：調理師免許、食空間テーブルコーディネーター2級、JA全農とくしま園芸部 クッキングアドバイザー
◎賞：2014年NHK社会貢献賞授与 ◎活動歴：TV=NHK徳島放送局料理コーナーレギュラー出演／ラジオ=TBS「伊集院光とラジオと」に毎月レシピ提供 ◎JA全農とくしまとのコラボイベント：大阪ガスハグミュージアムにて鰻を使った爽やか料理講習会／大阪中央卸市場にて徳島県の食材を使った料理講習会 ◎カルチャー講師：兵庫イオンカルチャー(姫路、加古川、明石の3店舗)講師／神戸市立長田区勤労センター、神戸市立西区民センター講師 ◎店舗用レシピ開発、商工会での商品開発など



その 151

～嬉しいときには、焼き肉とビール～

◆達筆すぎる1枚の葉書◆

数年前に大学の同窓会会報誌への私の寄稿を読んだ先輩と思われる方から、自宅にお葉書が届いた。その葉書には、手書き文字が綴られていた。達筆すぎて内容がよくわからない。多分お会いしたこともない方だし、なぜ自宅の住所を知ったのかも不明だ。頼りは葉書に書かれた学1卒の文字である。そこで、同窓会の事務局をしていただいている、県本庁の課長に連絡を取った。さすが顔が広い課長から、即座に葉書をくださった先輩のことを教えていただいた。元高校の校長先生で、現在は80歳を超えるお歳となり、地元の老人会の会長をされている方だそうだ。昔の同窓会名簿には、自宅の住所や電話、勤務先や卒業年度など多くの情報が記載されていたので、住所もそれで判ったのだろう、とのこと。

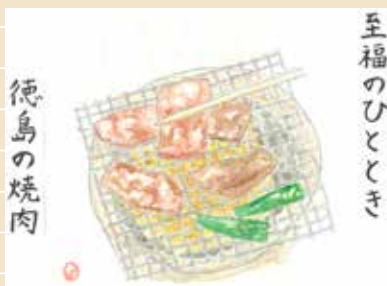
冊子過去数年分、手元にあるモノだけを添えてお送りした。このときに改めて思ったのが「同窓会でも、JA全農とくしまでも、裏方の事務局のおかげじゃ、ありがとう」という気持ちであった。

◆今日は焼き肉とビール◆

うまいモノ絵日記の評価について、熱心に読んでいただいている、あるJAの組合長から「あれはうまいわー。なかなかあんだけ、かけんよ」とお褒めいただいた。「ありがとうございます」「ほんまにうまい絵じゃ」と。絵(イラスト)担当のちっちゃんを絶賛。私は文書だけとわかると組合長は「文章もうまいわ、と妻が言っとったよ。ほんまじゃ」とナイス・フォローをしていただいた。お褒めいただき、嬉しかったので、今日は、焼き肉とビールで景気づけ。やっぱり肉食って元気ピンピンで行きますよ。

◆お世話していただいている事務局のおかげ◆

早速、私から拝復のお礼状を送った。近々数ヶ月分のJA全農とくしま情報と「うまいモノ絵日記」をまとめた



◆幸せのカギは健康と人との関係◆

同窓会の先輩達が教えてくれた、リタイア後の上手な過ごし方とは、健康のためには何歳になっても肉を食べる。人との結びつきは「質」が重要。このアドバイスのとおり、ワイガヤ趣味の釣り遠足や、書いて面白く伝える事を続けていこうと思う。そして、長生きには、焼き肉を食べて元気ピンピンで行こうと決めましたよ。皆さんも一緒に肉食いましょう。

交通安全のお知らせ

年末年始の交通安全県民運動の実施について

年末年始は、日没時間と学生の下校時間帯、社会人の退社時間帯が重なること等から、重大事故が増加する傾向にあります。交通ルール遵守と「ゆずる心と待つゆとり」を持って、交通マナー実践の習慣づけを行い、交通事故の防止を図りましょう。

1 期 間

令和4年12月10日(土)から
令和5年 1月10日(火)まで

2 運動の重点

(1) 高齢者の交通事故防止

自分の運転を見直す機会を作りましょう。年々加齢に伴い、身体機能の変化が運転に及ぼす影響が現れているのではないのでしょうか。体調が悪いとき、悪天候や暗い時間帯の運転は控える等、補償運転を実施しましょう。

(2) 夕暮れ時と夜間の交通事故防止

夜間は前照灯のこまめな切り替えによるハイビームの積極的な活用を行い、また自動車だけでなく、自転車についても、夕暮れ時(およそ日没30分前)の早めのライト点灯をお願いします。

歩行者は、明るい服装や反射材用品等を効果的に活用し、自身の存在を車に知らせましょう。

(3) 飲酒運転等の悪質・危険な運転の根絶

ア 飲酒運転の根絶

飲酒運転は悪質・危険な犯罪です。

年末年始は家族や友人等との飲酒の機会が増えるのではないのでしょうか。飲酒をすれば、公共交通機関等を利用するなど、周囲の方が協力し合い「飲酒運転を絶対にしない、させない」という意識を持ちましょう。

また、飲み過ぎた日の翌日は、二日酔い運転になる可能性があることから、自動車や自転車の運転は控えましょう。

イ 妨害運転の根絶

妨害運転いわゆるあおり運転は犯罪です。何気なしに車間距離を詰めたり、急な割り込み等をしていませんか。あおり運転と捉えられるような運転は絶対にやめましょう。そして、自動車を運転する際は、「ゆずる心と待つゆとり」を持ち、周囲の運転手を思いやる運転を心がけましょう。

また、あおり運転を受けたときは、車外に出ることなく安全な場所に避難し、110番通報をしてください。車にドライブレコーダーを付けることにより自身を守ることできます。

徳島県警察本部 交通企画課



営農コラム

緑肥作物の利用

営農支援課 技術主管 隔山 普宣

近年、堆肥の施用などによる土づくりを実施する圃場が減少しています。また、肥料原料の国際相場が上昇し、国内の肥料価格が上昇しています。

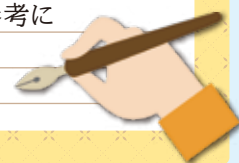
緑肥作物を導入することにより、土づくりの効果や化学肥料の削減効果が期待されます。

「緑肥作物」とは、野菜などを作付ける前に栽培し、腐熟させずに緑のまま土壌にすき込む作物のことです。土壌への有機物補給、後作物への養分補給、理化学性の改善や有害センチュウ類の抑制などの効果があります。

代表的な緑肥作物(イネ科、マメ科)の特徴は次のとおりです。「エンバク」(イネ科)は春まき栽培(3月上旬～5月下旬まき)を行います。すき込みにより土壌に補給される有機物量が多く、牛ふん堆肥0.5t/10a相当の土づくり効果があります。レタス栽培は窒素とカリの減肥、ニンジン栽培はリン酸の減肥が可能となります。野生種品種を用いるとキスジノミハムシやネコブセンチュウなどの被害を軽減することができます。「ソルガム」(イネ科)は初夏～夏まき栽培(5月中旬～8月中旬まき)を行います。すき込みにより土壌に大量の有機物を補給でき、牛ふん堆肥

1t/10a相当の土づくり効果があります。キャベツ栽培でリン酸、カリの減肥を行うことができます。排水性が改善されます。「クロタリヤ」(マメ科)は初夏～夏まき栽培(5月下旬～7月中旬まき)を行います。窒素固定による土壌肥沃度の向上が期待できます。牛ふん堆肥0.5t/10a相当の土づくり効果があります。ブロッコリー栽培は鶏ふん堆肥との併用で化学肥料(窒素、リン酸、カリ)の50%減肥が、キャベツ栽培は窒素の減肥が可能となります。ネコブセンチュウの抑制効果があります。「ヘアリーベッチ」(マメ科)は春まき栽培(3月～4月中旬まき)を行います。窒素固定による土壌肥沃度の向上が期待できます。キャベツ栽培は窒素、リン酸、カリの減肥が可能となります。排水性が改善されます。

緑肥作物の種類は数多くあり、今回は主要なものについて紹介しました。農研機構刊行の「緑肥利用マニュアル」には土づくり・減肥に役立つ緑肥の効果や緑肥の使い方などについて詳しく書かれています。緑肥作物を導入する際の参考にしていいただけたらと思います。



～組合員や地域住民の笑顔があふれる～

県下JAで展示会や農業祭など多彩に開催

秋たけなわ、県下JAでは展示会や農業祭などのイベントが開催されています。

これ等のイベントは、組合員や地域住民の方々とのおふれあいを通じ、絆を深める場として、土日を含む週末に多く開催されています。

11月、各JAの会場では、地元の特産品や加工品の紹介、特別価格での奉仕品の販売、展示即売会、各種イベント、景品プレゼントなどのお楽しみ企画が盛りだくさんとなり、大変多くの来場者で賑わいました。



JAグリーン創業祭(JAグリーンアグリ板野11/26～27)



第31回ANAN活竹祭&JAアグリあなん祭(JAアグリあなん11/26～27)



JAフェア(JA東とくしま11/19～20)



JAグリーン創業祭(JAグリーンどなりマルシェ11/26～27)



第31回ANAN活竹祭&JAアグリあなん祭(JAアグリあなん11/26～27)



JAフェア(JA東とくしま11/19～20)

～全農代表理事専務による職員講話～

令和4年度「職員研修会」

11月25日、当県本部は徳島県JA会館会議室にて、安田代表理事専務、伊藤地区担当部長、当県本部および子会社の役職員(128人出席)による「令和4年度職員研修会」をおこないました。

はじめに、野口代表理事専務からの「誓いの日」のメッセージ動画を視聴しました。

続いて坂本副本部長より令和4年度のコンプライアンス推進・リスク管理計画の上期取り組み結果が概ね計画どおりとなっていることなどの説明がありました。

安田代表理事専務からは、本会の事業などについて講話

をいただき、本会が取り組むべき方向性や課題について情報の共有をはかりました。

専務は、「現象に惑わされることなく本質を見ること」「正解はその時点では無いが、こだわったことは実現し、正解にしていくことが大事。失敗しても良いので真剣に取り組み、次に向かって進んでほしい」と職員への期待を述べられました。



講話を行う安田代表理事専務

総務課

～若手職員が意見交換～

令和4年度第2回 中国四国地区職員交流会

11月17日～18日の2日間、中国四国地区の県本部は当県本部をホスト県として、徳島県JA会館において「令和4年度第2回中国四国地区職員交流会」を開催しました。

この交流会は、中国四国地区の県本部職員の交流を目的として入会3～4年目までの若手職員を対象としており、今回は鳥取・岡山・広島・愛媛と当県本部から計16人が参加しました。

1日目は、当県本部の事業紹介やグループ討議があり、「職場で

の悩みと解決方法」について意見交換などがおこなわれました。

2日目は、当県本部の青果センターと中央農機整備センターの施設視察をおこないました。また、グループ討議では「全農のあるべき姿」について意見交換や発表をおこない情報共有をはかりました。

参加職員からは「コロナ禍で県本部をまたいでの交流がなかったので良い機会となった」との声が聞かれました。



グループで発表を行う職員

JAグループ提供「アグリンch」に「農Tuber」として JA里浦青壮年者部会の酒井崇志さんが出演中!!

「アグリンch」は、JA全中と日本テレビが連携して開設したYoutubeチャンネルで、農業や地域の魅力を伝える動画コンテンツを制作・配信しています。

全国6ブロックから選出されたJA青壮年部の盟友が「農Tuber」として、生産・販売の風景や日常の様子などを発信しています。

現在、当企画に中国・四国ブロックを代表して、JA里浦青壮年者部会の酒井崇志(さけい・たかし)さんが出演しています。

里浦地区で甘藷や大根を栽培している若手農業者である酒井さんが里浦地区での営農風景をはじめ、徳島県の農業や地域の魅力を発信していきますのでぜひご視聴ください。

酒井さんの回は11月27日(日)に1回目公開され、「里

むすめ」の収穫の様子などが配信されています。第2回目は令和5年1月8日(日)18時の予定です。

なお、酒井さん(4代目「農Tuber」)の担当期間は令和4年10月から令和5年9月までの1年間となっており、毎週1名(全6名)の活動風景が日曜日18時に配信されますのでぜひご覧ください。



Tokushima Flower Festival 2022

3会場にて徳島県産のお花を展示

1 2022
11.19(土)~24(木)
道の駅 くるくるなると
徳門市大津町備前新字蟹田に経235-1
11.19(土) 13:00~16:00
とくしまのお花で
ミニアレンジメント体験
参加無料
※予定数に達し次第、終了する場合がございます。

2 2023
1.26(木)~30(月)
JR徳島駅
徳島市中央西1丁目61

3 2023
2.10(金)~15(水)
道の駅 いたの
板野郡板野町川瀬字中手39-5
2.11(土)・12(日)
13:00~16:00
とくしまのお花で
ミニアレンジメント体験
参加無料
※予定数に達し次第、終了する場合がございます。

とくしま花まつり

2022
11.26(土)・27(日)
10:00~16:00
徳島県立21世紀館
徳島市八万町南寺山 文化の森総合公園内
来場者プレゼント
来場者に花苗プレゼント! 両日先着150名様
入場無料

主 催/とくしまの花振興協会
お問い合わせ先/徳島県もうかるブランド推進課 TEL.088-621-2409

詳細はこちら⇒徳島県公式webサイト

Instagram (@tokushima_flower_festival) にて情報発信中!

新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で開催します。ただし、今後の感染状況により内容を変更する場合がありますので、予めご了承ください。



JAタウン
「新鮮大好き徳島」



JA全農とくしま
YouTubeチャンネル



JA全農とくしま
Instagram



JA全農とくしま
クックパッド



JA全農とくしま
ホームページ

全農グループ経営理念

私たち全農グループは、**生産者と消費者を
安心して結ぶ懸け橋** になります。

—私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

全農

JA全農とくしま

<https://www.zennoh.or.jp/tm/>



「JA全農とくしま情報」に 関するお問い合わせ先

本紙「JA全農とくしま情報」の購読料・配送料は
無料です。送付先の氏名・住所変更や、
送付の停止につきましては、
JA全農とくしま企画管理課広報室
(電話 088-634-2462)
までご連絡ください。

